

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成30年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月))

施設名	五日市センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成30年4月1日から 平成35年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)		244	263	107.8%
	延べ利用者数 (人)		2,750	2,111	76.8%
	自主事業	実施回数 (回)	421	356	84.6%
		利用者数 (人)	3,145	2,713	86.3%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	13,735,000	13,735,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	2,337,500	1,850,450	79.2%
		自主事業収入 (円)	3,006,600	2,060,037	68.5%
	収入計 (円)		19,079,100	17,645,487	92.5%
	支出	人件費 (円)	9,941,000	9,333,466	93.9%
		維持管理経費 (円)	6,864,000	5,010,917	73.0%
		自主事業関係経費 (円)	1,693,070	1,695,247	100.1%
		その他の支出 (円)	0	0	0.0%
	支出計 (円)		18,498,070	16,039,630	86.7%
	収支 (収入－支出) (円)		581,030	1,605,857	276.4%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数は予定どおり開館している。通所事業について稼働率は20%上がったが、今後も周知活動を積極的に行う。 自主事業は、昨年度より受講者数が増えてきたが、今後も広報活動に力を入れていく。</p>	<p>【事業の実施状況について】 通所事業では、利用者の意見から新しい活動を取り入れ、楽しんでいた。脳トレ体操も積極的に取り入れた。 自主事業は、ニーズを把握し、講座回数の増加、コミュニケーションの場として活用してもらった。</p>	<p>【収支状況について】 通所事業の収支は、おおむね昨年と同様な状況が続いている。 自主事業については、増加傾向にあるが、今後も周知活動に力を入れ、収支のバランスの適正に努める。</p>
---	---	---

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数は、計画どおり開館しており評価します。通所事業は利用者が年々減少している中、新規利用者の確保へ向けた取組を行っていることは評価できます。自主事業は、昨年度より利用者数が増加していますので、評価します。 引き続き、利用者の増加につながる広報活動を展開してください。</p>	<p>【事業の実施状況について】 通所事業については、利用者が参加しやすいプログラムを実施しており評価できます。 自主事業については、参加者のニーズに合った事業内容、適正な回数が計画・実施されており評価できます。</p>	<p>【収支状況について】 通所事業、自主事業ともに、昨年度と同水準ですが、いずれも減収となっているため、利用者の増加に努めるとともに、収支状況の改善を図ってください。</p>
---	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

五日市センターの管理運営は問題なく実施されています。通所事業では、徐々に利用者が増加しています。利用者への寄り添う気持ちをモットーに職員間での情報の共有からニーズを把握し、利用者の楽しめる企画の開催、また新規利用者の確保の為、常に見学サービスを設け、親近感があるセンターを目指しました。地域イキイキげんきづくり事業にも参加し、周知、広報活動に力を入れました。

自主事業においては、少しずつですが増加しており、好評な講座は実施回数を増やし、市民の意見で新しい講座も開講しました。また、西の風新聞、朝日タウンに掲載され、周知活動の場が広がっています。今後も市民の皆様の憩い場としてセンターを運営し、収支のバランスの適正化に努めます。

市による所見（指摘事項など）

通所事業については、利用者が年々減少傾向にあり、平成30年度も減少となりました。利用者のニーズや状況に応じて、現行サービスの発展や見直しに加え、新たなサービスの提供等の検討を行い、利用者の満足度の向上、利用者の確保に努めてください。

自主事業においては、新規講座の開講や講座の回数変更等の工夫を行ったことにより、利用者の増加に繋がっているため、引き続き、市民の意見、要望に柔軟に対応した講座を開設してください。

なお、収支バランスについては、これまでの収支状況を踏まえ、適正化に努めてください。